

まるいん通信



発行 公益財団法人屋久島環境文化財団 電話 0997-42-2911

のんびり ゆったり

屋久島里めぐり

新たに2集落（楠川・安房）が加入

今年の4月から新たに2つの集落が屋久島里めぐり推進協議会に加入しました。この2つの集落の加入で、従来の8集落（中間・平内・春牧・宮之浦・一湊・吉田・永田・本村）から10集落で里めぐりを体験することができます。



楠川集落

菅原道真公を祀った「楠川天満宮」、屋久島に残る歴史的資料、町指定文化財の「楠川古文書」、町指定無形民俗文化財の「楠川盆踊り」、火縄銃による合戦があったと言い伝えられている「楠川城跡」など、見どころ満載です。



安房集落

安房川河口の左岸の通りは「如竹通り」と名付けられ、島の人々の生活向上に尽力した「泊如竹」の墓などがあります。泊如竹が施した治水工事跡など、普段見ることのできない珍しい光景を見ることができます。



～里めぐり参加方法～

里めぐりは、完全予約制の体験プログラム（約2時間）となっています。

里めぐりに参加を希望される方は、屋久島里めぐり推進協議会ホームページからメールで申し込んでいただくか、下記連絡先にお電話にてお申し込みください。

参加料 高校生以上1,500円 中学生1,000円 小学生500円

連絡先 屋久島里めぐり推進協議会（屋久島環境文化村センター内）

TEL:0997-42-2900



特別企画展屋久島の里を知ろう「楠川集落」編

財団が収集した、楠川集落の史跡や伝統文化といった地域資源の写真展示を行います。展示を観覧し予備知識を持っておくと、里めぐりがもっと楽しめるかもしれません。

期間:令和4年9月3日(土)～令和4年10月6日(木)

場所:屋久島環境文化村センター 交流ホール

観覧料:無料

みなさんは屋久島と言えば何を思い浮かべますか？世界自然遺産であることやジブリ関連、縄文杉、とても軟らかい水など、色々と浮かんでくることと思います。その中でも、多くの人の脳裏には「山」というワードが浮かんでくるのではないのでしょうか？それもそのはず、屋久島では家から一歩外へ出ると、そこに山があるのですから。

屋久島には1,000mを超える山が40座以上あり、さらには1,800m超えの山が10座もあります。九州の標高ランキングを見てみると、1～8位に屋久島の山がずらりと並んでおり、高い山々が連座することから『洋上のアルプス』と呼ばれています。

それぞれの山に特徴があり、その一つ一つが本当に魅力的なものです。その中でも私のお気に入りの山は、小瀬田集落の象徴でもある「愛子岳」です。この山の標高は1,235m、登山口からはなんと1,000m以上の標高差があり、まさに屋久島が生んだ自然のピラミッド。とにかく急勾配で心臓破りの山道が続き、さらには、森林の中は風が入りにくく非常に暑く、正直、ここまで聞いて「どこに魅力があるの？」と思う方が多いと思います。

屋久島はその特徴的な標高差から垂直分布が顕著に見られ、世界自然保護連盟が高く評価すべき場所と評しています。愛子岳を好きな理由は、この垂直分布を身近に感じられ、山頂から拝むことのできる360度見渡せる大パノラマな絶景。前には無限に広がる大海原、後ろを見れば迫力満点な山々。頑張ったからこそ見ることのできる絶景が愛子岳山頂にあります。

ぜひ、みなさんも大パノラマで最高な景色を拝むために、心臓破りの山道を駆け上がりましょう！



愛子岳山頂から拝むご来光

財団活動報告

8月14日(日)、屋久島山岳部保全利用協議会の活動の一環として、「縄文杉周辺マナー指導」を行いました。

この活動は、繁忙期における縄文杉デッキの混雑緩和等を目的に行っています。

当日は天候も良く、夏休み期間中ということもあり、小さなお子さんからご年配の方まで、幅広い年齢層の方が縄文杉を見に来られました。



屋久島環境文化財団SNS



Instagram



Facebook

～屋久島を想う～

研修課 主査 亀澤 利啓



盆・正月。狭い祖母の家に身内が集まり賑わう。賑わいをよそに、祖母とともに近くの観音堂にお参りに行く。信心深い祖母とは異なり小学生の頃の私の楽しみは、長い坂の途中にある出店でヨモギ餅を買ってもらうことだった。40年ほど前のことだ。そして、祖母が帰りによく持たせてくれたのが「かからん団子」。「かからん」とは鹿児島弁で「触らない」の意味。団子を包むサルトリイバラには棘があることによる。

この4月。自宅のある始良市を離れ単身屋久島へ。通勤途中、1つの看板に目が留まる。「かからん団子」。鹿児島本土の菓子ではないのか……。しかし、かからん団子が屋久島に根付いた菓子だと理解するのにさほど時間はかからなかった。



屋久島に来て約半年。海を隔てても共通する食文化。雄大な自然や人の温かさはもちろんだが、人々の築いてきた文化や歴史にも興味をそそられる昨今である。

【9月・10月の休館日】村センター・研修センター共通

9月： 5日(月) 12日(月) 20日(火) 26日(月)

10月： 3日(月) 11日(火) 17日(月) 24日(月) 31日(月)

